今月の情報連絡員さん

HOT いんたびゅう INTERVIEW

ここでは、当中央会から委嘱を受けて、組合等の業界の景気動向を毎月当会へ情報提供してくださっている情報連絡員さんにプライベートを含めてのお話を伺っています。

藤本（ふじもと）　昇（のぼる）さん
（三重県石油業協同組合）

組合と私！

石油販売会社で定年を迎えた後、平成20年3月21日より当組合に勤めており平成23年5月より専務理事の職に就いております。

三重県石油業協同組合は、昭和30年5月16日に設立しました。組合員数は平成25年3月末日現在303社、給油所数487SS（サービスステーション）でありますが、近年では年間15前後のSSが廃業等により減少しています。組合の業務内容につきましては、組合員の養成・研修事業の開催・組合員の経営における信用保証事業・構造改善事業・給油所設備改造及び地下タンク構造設備等の補助事業の申請の窓口としての業務を行っております。さらに組合員の燃料油販売においての官公需適格組合として官公庁との燃料油販売の協力をおこなっており、地域での国・県等においては災害協定の締結を行っております。

業界の現況は？

石油販売業界は、平成6年に給油所数が全国で6万店あったのをピークとして、平成25年3月末日では3万8千店を切っており年々減少傾向にあります。原因は、ハイブリット車及び電気自動車の影響による燃料油販売数量の減販、価格競争における収益面での悪化及び地下タンク等整備改善における経費増の負担、後継者の減少等であり、特に過疎地での給油所は経営が成り立たない状況であり、今後、過疎地での燃料供給が社会問題となると考えられます。

情報連絡員として心がけていることは？

毎月の石油業界の状況をお伝えしておりますが、特に基本としているのはエネルギー販売業界として、国際情勢における原油価格状況です。原油価格により燃料油価格が決まってきますので今後の価格状況を基本に訴えていきたいと思いますし、三重県の地域おける給油所の活躍等の情報も訴えていきたいなと思っております。

休日等の楽しみ方は？

別にこれといった生き方はしておりません。今は、年齢を意識してか、土曜日・日曜日の午前中1時間程歩いております。歩いた後は菰野町にある日帰り温泉にゆっくり入浴してのんびり過ごしております。

ひとこと！

三重県においても南海トラフを震源とする巨大地震の発生が懸念されており、災害時においては車両燃料の販売拠点が一番重要な役目を担うことになりますが、これ以上SSが減少となるようであれば、早々に検討の必要があると思っています。

三重県石油業協同組合（平成24年10月～平成25年9月）

★売上・受注額

24/10	11	12	25/1	2	3	4	5	6	7	8	9
↓	↑	↑	↑	↓	↓	↓	↓	→	↑	↑	→

★収益状況

24/10	11	12	25/1	2	3	4	5	6	7	8	9
↓	↓	→	→	↓	↓	↓	↓	→	→	→	↓